

まち歩きワークショップを開催しました！



過日、説明会でお知らせしましたように本地区では、土地区画整理事業区域を正式に除外し、区画整理によらない新しいまちづくりをめざして現在、地区の現況調査やまちづくりのあり方について検討を進めています。

住民皆様の想いや意見を今後のまちづくりに反映し、共にまちづくりを進めていくため、その第一歩となる「まち歩きワークショップ」を開催しました。

当日は、新村区助役をはじめ16名の住民と町職員3名、コンサルタント4名、報道関係者4名（辰野新聞、長野日報、ほたるチャンネル）の総勢27名が参加し、実際に駅前地区を見て回り、その後、下辰野公民館にて意見交換（ワークショップ）を行いました。

日時：平成24年6月23日（土）

午前10時～12時

場所：下辰野公民館

議題：

第1部 まち歩き

第2部 意見交換（こんなまちにしたい！）

※ワークショップ：みんなで考える共同作業

まち歩きワークショップの概要

■第1部：まち歩き

まち歩きでは、住民のみなさんからまちの歴史や賑やかだった頃のこと、空き家や廃屋が増えていること、高齢化や人が減っていること、駅や商店街のこと、路地の話など、いろいろなお話を伺うことができました。

■第2部：意見交換（ワークショップ）

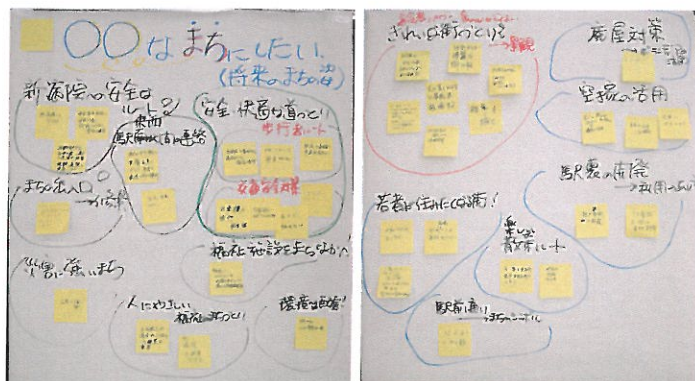
下辰野公民館において「こんなまちにしたい」をテーマについて参加者全員によるワークショップ方式で意見交換を行いました。

参加者全員から、駅前地区の将来のあり方について様々なご意見をお伺いすることができました。

（ご意見のまとめは、次ページをご覧ください）



・まち歩き風景



・参加者からの意見



・意見交換（ワークショップ）風景

■皆さんから次のようなご意見がありました

将来のまちの姿

○災害に強いまち

- ・災害に強い町

○人にやさしい福祉のまちづくり

- ・区内住人が高齢化しており、この施策が重要
- ・新病院と関連付ける

○環境に配慮したまちづくり

- ・街灯のソーラー発電利用

○まずはきれいなまちづくりから

- ・高齢者の力を結集し、きれいなまち（まちを見直す）
- ・何処よりもきれいな街にする
- ・お金をかけない（魅力と自信を作り出す）
- ・力が有り余っている70～80代の方が活躍できる場所を提供する（経験の活用と生きがいづくり）
- ・丈の高くならない草花を栽培する
- ・街路樹植栽と維持管理
- ・雑草を抜く

○若者が住みたくなるまち

- ・若者が住める町
- ・駅前広場に人の集まる町にしたい
- ・若い人が住んで楽しくなる町
- ・ロマンの感じられる町並み

こんなまちづくりを進めていこう

○新病院への安全なルートを確認！

- ・新病院へのアクセス
- ・新設辰野病院へ通院しやすい万歳橋によらない道路の確保
- ・辰野駅から西の道へ通ずる近道が必要。通院を容易にする

○駅東西間の連絡強化！

- ・駅裏側に乗降できるように。歩道も病院に行くに便利
- ・駅前と駅裏を結びたい

○まちの出入り口を美しく！

- ・周囲の町とのつながりの道路は景観に配慮を
- ・まちの出入り口の公園化

○安全・快適な道づくり

- 〈歩行者ルート〉
- ・高齢者や車椅子でも安全走行できる歩道の整備
- ・本町一丁目には歩道がほしい
- ・駅前の道路に歩道がほしい
- 〈交通安全対策〉
- ・万歳橋の歩行安全性
- ・交通安全に配慮した街
- ・道を広く、速度制限する
- ・主要道路の直線化

○福祉施設をまちなかへ

- ・駅近くにバリアフリーの介護予防施設を兼ねた高齢者集会所

○廃屋対策を早急に・ボランティアの活用

- ・廃屋の処理

○楽しむ散策ルート

- ・古い家も見ながら散歩できる町にしたい→休みできるベンチの設置
- ・散策ルートの整備

○空き家の活用

- ・若い人の住まい→廃屋の活用、若い人に戻ってほしい

○駅裏の開発→跡地利用のあり方を考える

- ・駅の西側の開発
- ・JR貨物の跡地の有効利用

○駅前通りはまちのシンボル

- ・駅広・駅前通りは町の顔
- ・歩行者を優先した道づくり→この町にふさわしい駅広と駅前通りの整備のあり方を考える

－瓦版について－

この瓦版は、辰野駅前地区のまちづくりに関するお知らせとして、不定期ですが必要に応じて随時発行しています。詳細をお知りになりたい方は事務局までご連絡下さい。

事務局：辰野町役場 建設水道課

担当：上島

住所：〒399-0493 上伊那郡辰野町中央1番地

電話：0266-41-1111（代）

FAX：0266-41-4651

